

2020年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2019年10月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（連結）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（連結）
- 8) リサ事業の営業状況
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2020年3月期 計画

- 1) 連結業績予想

3. 中期計画2017 進捗状況

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比14.2%増加
- ・資金調達環境は良好な状態を維持
- ・倒産状況については、件数は増加するが負債総額は前年同期比減少

【営業実績】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高・成約高ともに前年同期比大幅増加
- ・ファイナンス事業についても前年同期比増加

<賃貸・割賦事業>

契約実行高： **30.7%増** 成約高： **44.7%増**

<ファイナンス事業>

契約実行高： **2.3%増** 成約高： **2.1%増**

【経営成績】

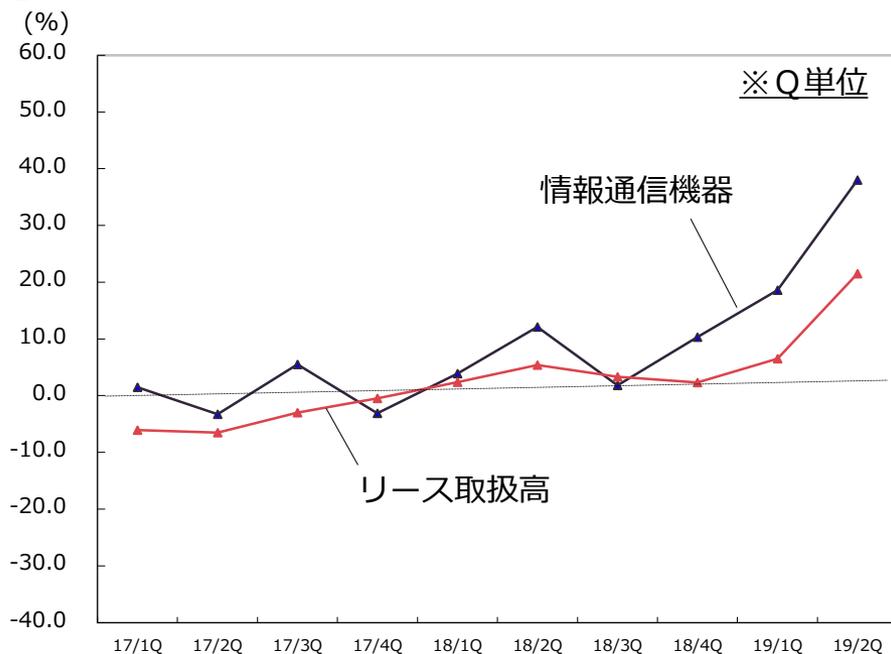
- ・リサ事業のファンドビジネスにおける売却収益等により、売上高・利益共に前年同期比大幅増加

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

2) 事業環境

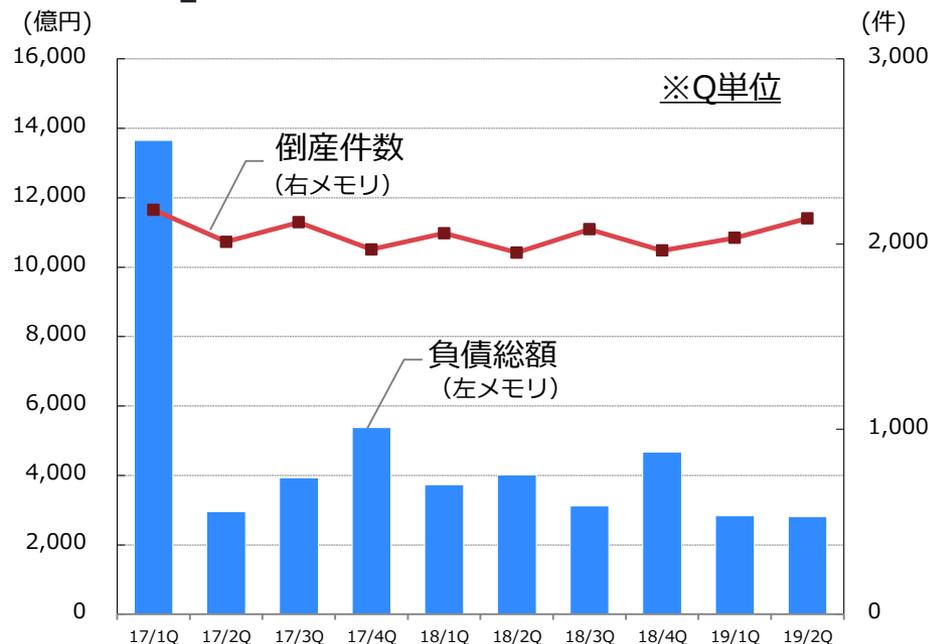
- ・リース取扱高：業界全体のリース取扱高については前年同期比14.2%の増加
当社の主力である情報通信機器は前年同期比28.8%の増加
- ・倒産状況：19年9月期における倒産件数は増加するが負債総額は前年同期比減少

■ リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



(社団法人リース事業協会：リース統計より)

■ 倒産状況（負債総額/件数）



(帝国データバンクHP：倒産集計より)

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

3) 業績概要 (連結)

- ・売上高 : 賃貸・割賦事業の伸長やその他事業の大型売却に加え、リサ事業の増加から前年同期比13.4%の増加
- ・経常利益 : リサ事業における収益計上に加え、為替評価益の発生により前年同期比112.1%の増加

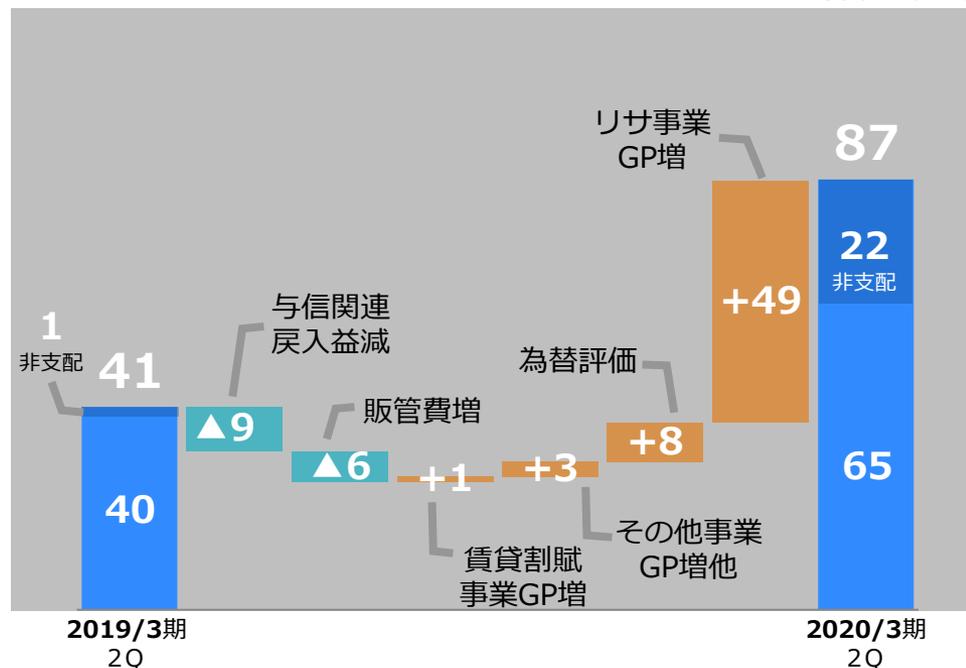
業績数値

(単位：億円)

	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	前年同期比
売上高	1,010	1,146	+13.4%
営業利益	47	82	+74.6%
経常利益	41	87	+112.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	27	54	+99.3%
1株当たり四半期純利益	125円00銭	249円18銭	-
営業資産残高	8,084	8,520	+5.4%
純資産	1,024	1,056	+3.1%
自己資本	866	937	+8.2%
自己資本比率 (%)	9.9	10.2	+0.2
1株当たり中間配当金 (円)	25	30	+5.0

経常利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

		(単位：億円)		
		2019/3期	2020/3期	
		2Q	2Q	前年同期比
賃貸・ 割賦事業	売上高	833	848	+1.9%
	売上総利益	55	56	+1.6%
	営業利益	25	18	▲27.5%
ファイナンス 事業	売上高	30	33	+8.2%
	売上総利益	24	24	+1.6%
	営業利益	20	14	▲28.0%
リサ 事業	売上高	83	150	+81.0%
	売上総利益	35	84	+138.6%
	営業利益	15	60	+311.1%
その他の 事業	売上高	64	115	+78.7%
	売上総利益	7	8	+13.0%
	営業利益	▲4	▲3	-
計	売上高	1,010	1,146	+13.4%
	売上総利益	121	172	+41.9%
	営業利益	47	82	+74.6%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<賃貸・割賦事業>>

- ・売上高および売上総利益は前年同期比増
- ・営業利益は、与信関連戻入益の減少および販管費増加により前年同期比27.5%減

<<ファイナンス事業>>

- ・売上高は企業融資が伸長し前年同期比8.2%増
- ・営業利益は、与信関連戻入益の減少により前年同期比28.0%減

<<リサ事業>>

- ・ファンドビジネスにおける収益に加え、不動産売却益により、売上高・利益共に大幅増加

<<その他の事業>>

- ・売上高は、大型の売却売上の計上により、前年同期比78.7%増
- ・営業利益は、売上総利益の増加に伴い前年同期比改善

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況（連結）

事業別契約実行高

(単位：億円)

	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	2Q	2Q	
賃貸・割賦事業	720	941	+30.7%
賃貸事業	670	841	+25.5%
割賦販売	50	101	+100.0%
ファイナンス事業	2,421	2,476	+2.3%
営業貸付金	2,033	2,112	+3.9%
一括ファクタリング	389	364	▲6.3%
その他の事業	27	43	+60.3%
計	3,168	3,461	+9.2%

事業別成約高

(単位：億円)

	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	2Q	2Q	
賃貸・割賦事業	1,067	1,544	+44.7%
賃貸事業	1,021	1,448	+41.8%
割賦販売	46	96	+107.5%
ファイナンス事業	2,424	2,474	+2.1%
営業貸付金	2,035	2,110	+3.7%
一括ファクタリング	389	364	▲6.3%
その他の事業	27	46	+69.5%
計	3,518	4,064	+15.5%

<<契約実行高>>

- ・ 賃貸・割賦事業で複数の大型案件獲得や顧客基盤の拡大により前年同期比大幅増加
- ・ また、ファイナンス事業も堅調に推移し、全体で前年同期比9.2%増加

<<成約高>>

- ・ 賃貸・割賦事業は、官公庁・民需ともに大型案件を複数受注し前年同期比大幅増加
- ・ ファイナンス事業も堅調に推移したことで全体で前年同期比15.5%増加

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	2Q	2Q	
官公庁	332	435	+30.9%
民需	388	506	+30.6%
サービス業	94	137	+46.7%
流通業	145	118	▲18.4%
製造業	69	116	+67.7%
その他	80	135	+67.9%
計	720	941	+30.7%

業種別成約高

（単位：億円）

	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	2Q	2Q	
官公庁	698	988	+41.7%
民需	370	556	+50.4%
サービス業	81	148	+82.0%
流通業	122	147	+19.7%
製造業	80	121	+50.8%
その他	86	141	+63.8%
計	1,067	1,544	+44.7%

（参考）機種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	2Q	2Q	
情報通信機器	482	702	+45.6%
電子計算機及び関連装置	252	412	+63.5%
ソフトウェア	208	266	+28.0%
通信機器及び関連装置	22	23	+6.1%
事務用機器	72	76	+5.5%
その他機器	166	164	▲1.4%
計	720	941	+30.7%

<<業種別契約実行高>>

- ・官公庁における複数の大型案件獲得、またベンダーファイナンスやICTレンタル等の強化施策により全体で前年同期比30.7%増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁・民需ともに複数の大型案件を獲得したことにより前年同期比大幅増加

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況（連結）

契約形態別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	113	115	+2.3%
個別ファクタリング	1,210	1,241	+2.6%
一括ファクタリング	389	364	▲6.3%
企業融資	621	700	+12.6%
その他	89	56	▲37.4%
計	2,421	2,476	+2.3%

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	前年同期比
官公庁	4	10	+151.3%
民需	2,029	2,102	+3.6%
サービス業	204	158	▲22.4%
流通業	122	96	▲21.2%
製造業	1,282	1,364	+6.4%
金融業・保険業	230	223	▲3.1%
不動産業	89	171	+92.6%
その他	102	89	▲12.5%
一括ファクタリング	389	364	▲6.3%
計	2,421	2,476	+2.3%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・一括ファクタリング等が減少したものの、企業融資が堅調に推移し前年同期比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・民需における業種別では、製造業や不動産業を中心に前年同期比増加

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況

事業別収益

(単位：億円)

		2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	前年同期比
アセットビジネス	売上高	31	97	+208.7%
	売上総利益	19	52	+167.0%
	営業利益	10	40	+297.0%
不動産	売上高	48	50	+4.3%
	売上総利益	12	29	+133.8%
	営業利益	10	26	+169.0%
アドバイザー	売上高	3	3	▲18.5%
	売上総利益	3	3	▲17.2%
	営業利益	0	▲1	-
のれん他	売上高	0	0	-
	売上総利益	0	0	-
	営業利益	▲5	▲5	-
連結ベース 計	売上高	83	150	+81.0%
	売上総利益	35	84	+138.6%
	営業利益	15	60	+311.1%

ファンドビジネスに加え
不動産売却等により、
売上高、利益ともに大幅増加

<<アセットビジネス>>

- ・投資有価証券売却益や配当収益の計上により、増収増益

<<不動産>>

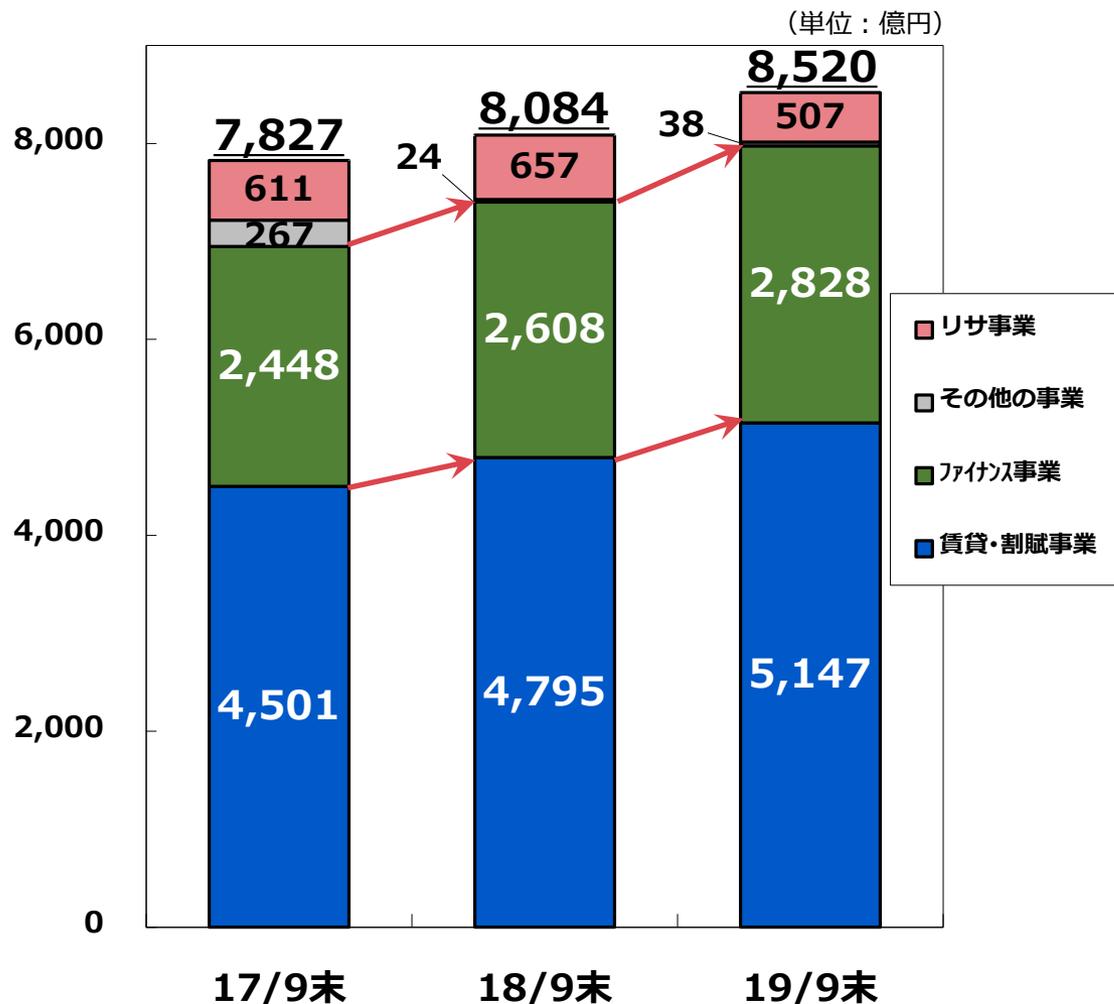
- ・大型の販売用不動産の売却の計上により増収増益

<<アドバイザー>>

- ・M & A等の手数料収入を安定的に確保

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況 (連結)



<<貸貸・割賦事業>>

- ・官公庁・民需共に伸長、民需ではベンダーファイナンスやICTレンタル等の強化施策が奏功し、前年同期比352億円の増加

<<ファイナンス事業>>

- ・外貨建てを含む企業融資が伸長し前年同期比220億円の増加

<<その他の事業>>

- ・ヘルスケア関連施設の取得等で前年同期比14億円の増加

<<リサ事業>>

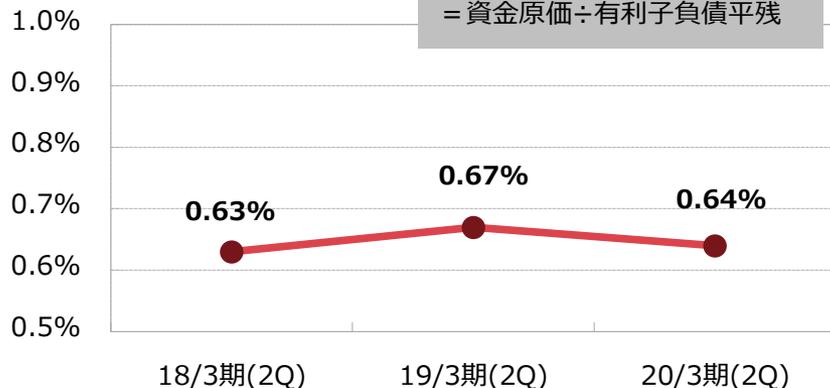
- ・ファンドのEXITや買取債権の回収等により前年同期比150億円の減少

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

10) 資金調達状況 (連結)

資金原価率

資金原価率 (%)
= 資金原価 ÷ 有利子負債平残

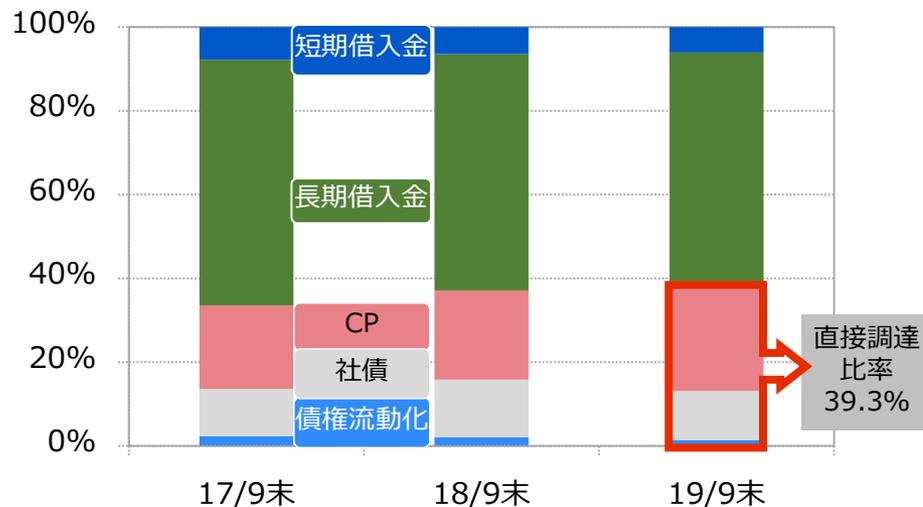


有利子負債残高

(単位: 億円)

	19/3期		20/3期		増減
	2Q	構成比	2Q	構成比	
短期借入金	472	6.5%	466	6.1%	▲6
長期借入金	4,098	56.4%	4,203	54.7%	+105
CP	1,550	21.3%	2,010	26.2%	+460
社債	1,000	13.8%	900	11.7%	▲100
債権流動化	149	2.1%	107	1.4%	▲42
計	7,269	100.0%	7,685	100.0%	+416

有利子負債構成比

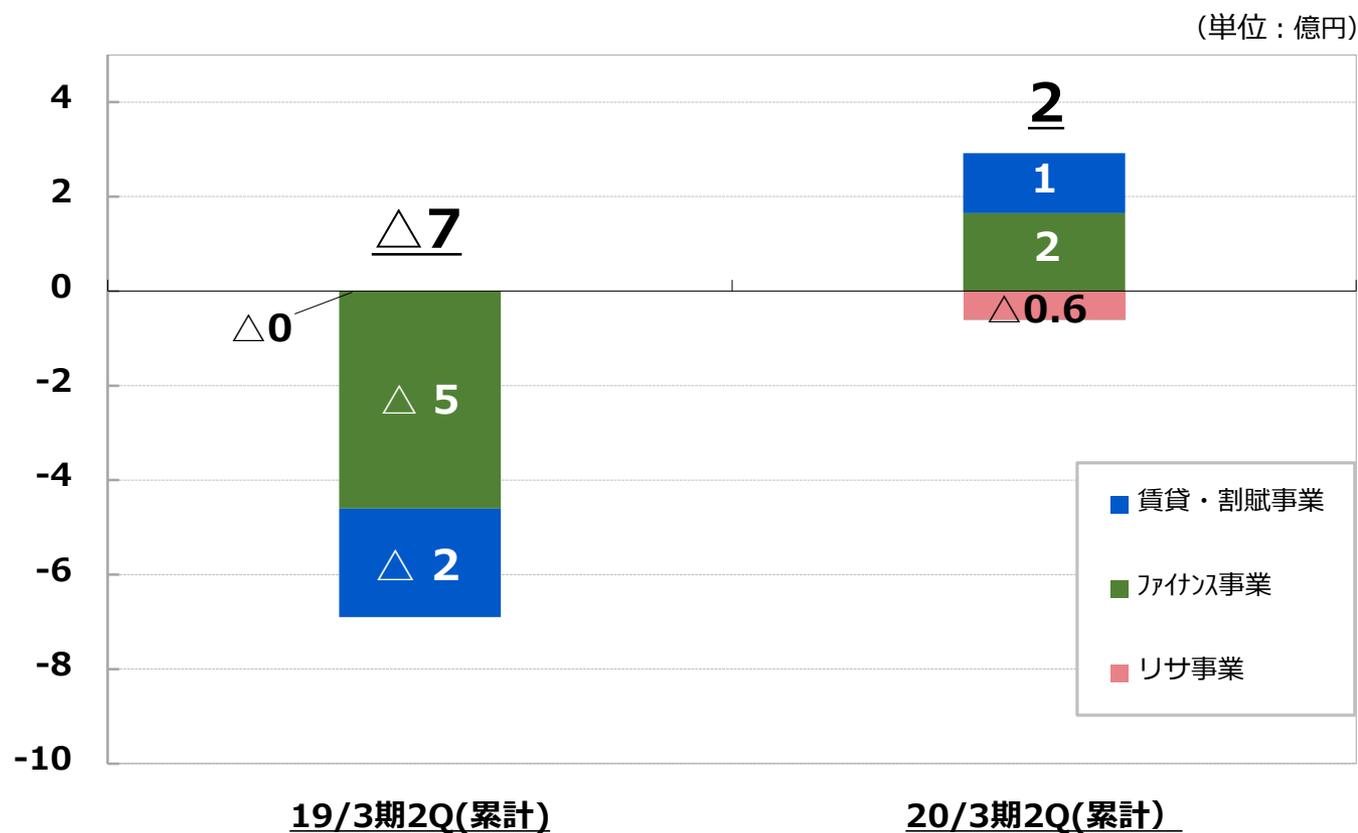


- ・ 資金原価率は0.64%と前年同期比0.03ポイント低下
- ・ 直接調達比率は戦略的なCP発行拡大に伴い上昇 (2018/9末 37.1% → 2019/9末 39.3%)

1. 2020年3月期 第2四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

- 与信関連費用は、戻入益の減少や新規引当の発生により前年同期比9億円の増加



2. 2020年3月期 計画

2. 2020年3月期 計画

1) 連結業績予想

- ・ 上期偏重の収益計上は期初予想に織り込まれていることから、業績予想値は据え置き

連結業績予想

(単位：億円)

	2020/3期 第2四半期	2020/3期 年間	中計2017 年間計画値
	実績	予想	ご参考
売上高	1,146	2,100	-
営業利益	82	100	-
経常利益	87	100	85
親会社株主に帰属する純利益	54	65	45
1株当たり純利益 (円)	249円18銭	301円86銭	-

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2019/3期 実績	25円00銭	30円00銭	55円00銭
2020/3期 予想	30円00銭	30円00銭	60円00銭

3. 中期計画2017 進捗状況

3-1. 中期計画2017の概要

「コア領域の完成」と「新事業立ち上げ」で、持続し得る事業基盤を構築

【当社グループビジョン】

お客様と共に、社会価値向上を目指して、グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

強みを活かした当社らしい
“サービス”を確立



グループビジョン実現に向けた
マイルストーン

コア領域の完成
+ 新事業立ち上げ

4～6年目
(2017-2019)

コア領域の拡充
+ 新事業収益化

7～10年目

非金融含む当社ならではの
“新事業”を確立



コア領域の基盤再構築
+ 「仕掛け」を構築

1～3年目

FY2014

FY2023

①「コア領域の完成」：強みを活かした当社らしい“サービス”の確立

●NECとの戦略的なパートナーシップの確立と深耕

- NECとの連携強化による取扱高の増加
- 官公庁を中心とした良質な賃貸割賦アセットの積み上げ
- 協業パートナーとの連携による新たなサービスモデルの企画

●独自商流における顧客基盤の拡充

- 外資系ICTベンダーとの更なる連携強化による大型案件の獲得
- 大口販社との取り組み強化による小口リースの積み上げ伸長
- 一般民需における基盤顧客の深耕

●高い利益成長の源泉を確保

- リサ事業の企業投資、不動産ビジネスでの収益拡大
- Win10更新需要の着実な取り込みによる当社独自のレンタル事業拡大
- PFI事業の継続的な取り組み拡大

② 「新事業の立ち上げ」：非金融を含め当社らしく持続可能な“新事業”の確立

- 新事業（エネルギー・ヘルスケア・農業・観光）における新ビジネスモデルの確立
 - 宮古島再エネサービスプロバイダ事業へ出資参画
 - ヘルスケア施設のリート向けウェアハウジング事業継続
 - 国産無農薬バナナ生産等実証事業の立ち上げ、農業再生に取り組むファームフェス社への出資参画
 - 白馬岩岳街並み活性化による観光資源活性化を通じた事業創出、街づくり継続

③ 事業戦略を支える経営基盤の強化

- 営業サポート体制の強化
- 業務品質・効率化取り組み推進
- コンプライアンス態勢の更なる強化

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC